ガス機器を安全にお使いいただくための

ガスライフ安心ガイド



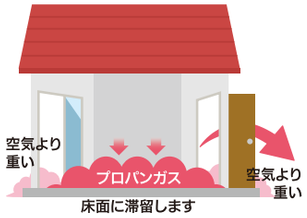
ガス保安キャラクター「ほあんちゃん」

広島ガス　このまち思いエネルギー。

お届けしているガスはLPG（プロパンガス）です

空気より重いため、万が一ガスが漏れた場合には**お部屋の床面に滞留**します。

取り扱いを誤ると**一酸化炭素（CO）中毒や爆発等の危険性**がありますのでご注意ください。



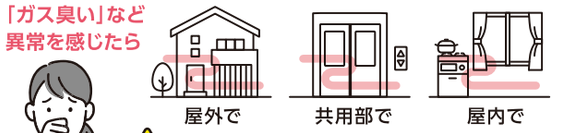
当社HPはこちらから

音声ガイドはこちらから

QR Translator

「ガス臭い」など異常を感じたらすぐ広島ガスへご連絡ください

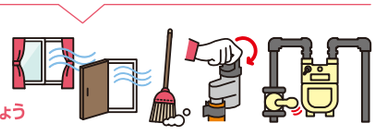
「ガス臭い」など異常を感じたら



火気は絶対に使用しないでください！



窓や戸を大きく開け、ガスを外に追い出すように換気をし、ガス栓やメーターガス栓を閉めましょう



お名前、ご住所、ご近所の目標など、その場の状況をお知らせいただき、安全な場所に避難してください。

ガス臭い・ガス漏れの通報【24時間365日】

❶広島ガス保安指令センター

可部地区	TEL 082-251-3219
熊野地区	TEL 0823-22-3219

ガス料金などその他のご用件は

❷広島ガスお客さまセンター［受付時間］

0570-002-888

平日……8:50～19:00
土・日・祝日、年末年始（12/31～1/4）、5/1…8:50～17:30

※ナビダイヤルをご利用になれない場合（一部IP電話・海外からのご利用など）は082-251-2176へおかけください。

ガス機器修理のお問い合わせは［24時間365日］

❸広島ガスお客さまセンター修理受付

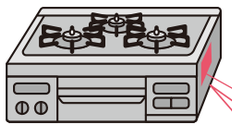
0570-005-502

※ナビダイヤルをご利用になれない場合は、上記のお客さまセンターへおかけください。

ガス機器はガスの種類（LPG）と合うものをご使用ください

※当社が供給するガスの種類には13AとLPGがあります

ガスの種類に適応していないガス機器をご使用になると、**不完全燃焼による一酸化炭素（CO）中毒や火災の原因となり非常に危険です。**ガス機器とガスの種類が適応していない場合は、ガス機器の調整（有料）の必要があるため、連絡先❸にご連絡ください。新しくガス機器を購入した時や、お引越しによりガス機器を持ち込まれる時には特にご注意ください。



ガス機器には、適応するガスの種類を示した「ラベル」が貼られています

ラベル

AB-120-L……型式
LPG……適応するガスの種類
000kW（0000kcal/h）……ガス消費量
202501-0001……製造年月日・製造番号
□□□□□□株式会社……メーカー名

ガス警報器の設置をおすすめします

万が一ガス漏れが発生した場合、ランプと警報音でお知らせします。24時間頼りになる暮らしの見張り番です。取付ご希望の際は連絡先❷へご連絡ください。

※交換期限は5年です。

LPGは空気より重いため床面に近い位置に取り付けます



ガスが止まった時のマイコンメーターの復帰方法

復帰方法の動画はこちら

マイコンメーターは、こんな時にガスを遮断します。

- 地　震
- 機器の消し忘れ
- 多量のガス漏れ
- 機器の長時間使用

復帰の手順

ガス臭くなく、表示ランプが赤く点滅している場合は、次のように操作してください。

①ガス機器を止める

器具栓を閉じるか、運転スイッチを切り、すべてのガス機器を止めてください。メーターガス栓は閉めないでください。



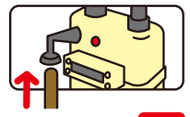
②復帰ボタンを押す

復帰ボタンのキャップを左に回して外し、奥までしっかり押して、赤ランプが点灯したら、手を離してください。



【高いところにマイコンメーターがある場合】

復帰レバーを棒などで押し上げてください。



③3分待つ

復帰ボタンのキャップを元に戻し、約3分お待ちください。再度赤ランプが点滅を開始しますが、この間にガス漏れがないか確認していますので、ガスを使わないでください。



④ガスの使用開始

3分後、赤ランプの点滅が消えていればガスが使えます。



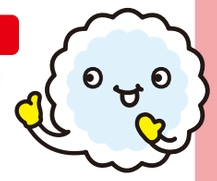
正常に復帰しない場合や不明な点がある場合は連絡先❶へご連絡ください。

ガス機器とガス栓は正しく接続してください

接続具使用時のポイントはこちら

正しい接続具をご使用ください

- 接続具は、ガス機器やガス栓にあった適切なものを正しく接続してください。
- 古くなったゴム管や接続具は早めにお取り替えください。



使っていないガス栓は開けないで

ガス機器が接続されていないガス栓にはガス栓キャップをかぶせてください。



古いガス栓は取替を検討ください

万が一、ガスが漏れても安全機能のついたガス栓であれば、ガスの噴出を止めることができます。古くなって硬くなったガス栓を使用するときは、ペンチなどで無理に回さず、連絡先❶にご連絡ください。

旧型ガス栓



新型ガス栓



業務用でガスをご使用の皆さまへ

業務用換気警報器の機能についてはこちら

日頃から清掃しましょう

- 排気ダクトの清掃が不十分な場合、油脂やほこりが堆積し、ガス機器の炎や熱の影響を受け、ダクト火災が発生する可能性があります。



業務用換気警報器設置のおすすめ

- 換気不足などでガス機器が不完全燃焼した場合に発生する一酸化炭素（CO）を検知し、音声でお知らせします。取付ご希望の際は連絡先❷へご連絡ください。



理・美容院、工場などで特殊な薬品をご使用の場合

- 理・美容院、クリーニング店、工場などで特殊な薬品をご使用になると、ガス機器の内部や排気筒を傷めることがあり、ガス機器の故障や、一酸化炭素（CO）中毒に至る可能性があります。

安全設備は定期的に点検を実施し、操作方法の周知をしましょう

- ガス警報器が正しい位置に取り付けられているか確認し、ガス漏れ警報設備や自動ガス遮断装置などを、定期的に作動点検してください。
- 飲食店などで大地震など災害が起き、ガス臭いときや危険を感じた場合は、お客さまをお守りするため、すみやかに安全な場所へ避難誘導してください。
- テナントのオーナーや店主の方は、テナントで働くすべての従業員の方に安全設備の必要性と操作方法の周知をしてください。

2026.10.D 3,600

ガスをお使いの時にはまず換気！日常点検も基本です

日ごろのお手入れを解説

換気の重要性について解説

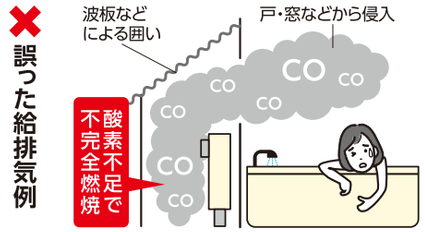


日頃から換気や点検をしてください

ガスが燃えるには、新鮮な空気が必要です。換気が不十分な状態でガス機器を使用すると不完全燃焼を起こし、一酸化炭素（CO）中毒になる恐れがあります。屋内でガス機器をお使いになる場合は、換気扇を回すか、窓を開けて換気をしてください。

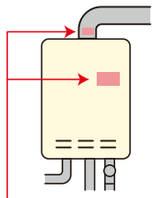
屋外設置用のガス機器を波板などで囲わないでください

屋外設置用の機器を屋内に設置したり、波板などで囲ったりすることは、大変危険です。波板などで囲われることにより、機器が不完全燃焼を起こし、一酸化炭素（CO）中毒の原因となる恐れがあります。



屋内にガスふろがま、ガス湯沸器等を設置する時は、資格が必要です

ガスふろがまや大型湯沸器、排気筒（煙突）などの改善工事や、新たにガス機器を設置される際には、国で定められた資格が必要です。また、設置後は法令で定められた表示ラベルが貼付されていることをご確認ください。



特定ガス消費機器の設置工事の監督に関する法律第6条の規定による表示

工事事業者の氏名	○○○○設備
又は名称及び連絡先	○○○-○○○-○○○○
監督者の氏名	○○○○○○○○○○○
資格証の番号	○○○○○○○○○○○
施工内容及び施工年月日	○○○○○○○○○○○ 年　月　日

ガス機器の排気口や周辺に可燃物を放置すると火災の恐れがあります

ガス機器は取扱説明書の記載に従い、周囲との離隔距離を正しくとってください。機器のまわりや上方にタオル掛けなどを設置しないでください。

ガス機器および接続具は使用される前に取扱説明書を確認してください

取扱説明書に従って、日常点検や定期点検を行ってください。機器使用時に不快なにおい、炎のあふれ、異常な過熱を発見した場合は、即刻使用を中止し、連絡先❸にご連絡ください。

ガス小型湯沸器

●不完全燃焼を起こしている恐れがあります

使用中に火が消えた場合、再点火を繰り返さないでください。ただちに使用を中止し、修理の手配をお願いいたします。修理の受付は連絡先❸で承ります。

●不完全燃焼を起こす場合があります

小型湯沸器による浴槽へのお湯張り、シャワーなどの長時間使用、洗濯機への給湯は不完全燃焼の原因となり、大変危険です。
熱交換器の目詰まりなどが、不完全燃焼を起こし、一酸化炭素（CO）中毒の原因になることがあります。ときどき上部（遮熱板の下）に汚れや詰まりがないか確認してください。





ツマミが2つの小型湯沸器は、不完全燃焼防止装置が付いていない代表的なタイプです。不完全燃焼防止装置付小型湯沸器への取り替えをおすすめします。

●不完全燃焼防止装置

換気のし忘れや、熱交換器やフィルターの目詰まりがあった時、炎の異常を検知し自動的にガスを止めます。装置が作動した場合は、事故防止のため、再点火せず、使用を中止してください。また、この装置が付いていても使用時には必ず換気してください。



ガスコンロ

火災につながる恐れがあります

揚げ物をしているときやグリルを使用しているときは、**決してその場から離れないでください。**来客や電話などでその場から離れるときは、必ず火をとめてください。鍋などの近くでは、炎が見えなくても着火の危険性があります。鍋などの底から炎がはみ出さないよう火力を調節ください。コンロの上や奥のものをとるときなどは、こまめに火を消して**衣服の袖や裾に燃え移らないように注意してください。**



●不完全燃焼を起こす場合があります

バーナーが目詰まりしたまま使うと、危険です。時々、ワイヤーブラシなどでバーナーヘッドの清掃をしてください。
メーカーの純正品以外のご使用は、不完全燃焼を起こし、一酸化炭素（CO）中毒の原因となる場合があります。
（例えば、市販されているガスコンロ用省エネリングなど）

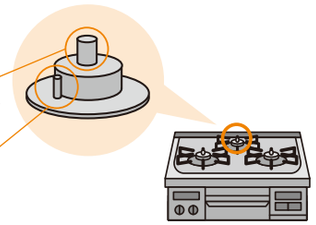


●安全型機器のおすすめ

〈安全センサー〉

調理油加熱防止装置
天ぷら油が発火点になる前に温度センサーが反応してガスを止め、火災を防止します。

立消え安全装置
煮こぼれや点火ミスなどで火が消えた時、自動的にガスを止めます。

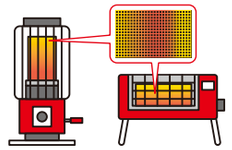


Siセンサーコンロには、すべてのバーナーに安全センサーがついています。

金網ストーブ

●不完全燃焼を起こす場合があります

金網変形や炎あふれがあるときはもちろんですが、外観がきれいでも内部のほこり詰まりなどで不完全燃焼を起こしやすくなります。暖房シーズン前に点検（有償）をおすすめします。

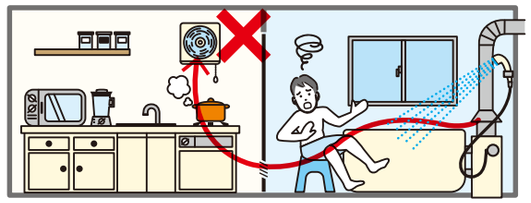


不完全燃焼防止装置付ガスファンヒーターなどへお取り替えください。

排気筒（煙突）式のガスふろがま・ガス湯沸器

●一酸化炭素（CO）中毒を起こす場合があります

浴室内にガスふろがまを設置している場合には、お風呂を沸かしている時やシャワーを使っている時は隣の台所で換気扇を使用しないでください。ガスふろがまの排気が浴室内に逆流し、危険です。ご使用中に不快なニオイや目がチカチカするなど異変を感じた場合には、ただちに使用を中止し、連絡先❸にご連絡ください。



●火災の原因となる場合があります

ガスふろがまを使用される場合には、空だきに注意しましょう。ガスふろがまや浴槽を傷めたり、火災の原因にもなります。また、ガスふろがまが水につかると故障の原因にもなります。

●日頃から下記の点検を行ってください

❶排気筒に鳥の巣などの異物が詰まっていませんか?
❷排気筒に固定金具がなかったり、
　グラついたりしていませんか?
❸排気筒に穴あき、外れがありませんか?
❹給気口や換気口がふさがれていませんか?
　さらに、排気ファンが付いている場合は、
　以下の点検も行ってください。
❺ご使用中にファンが作動していますか?
❻機器の排気口やフィルターにほこりが詰まっていませんか?
❼電源プラグはコンセントに差し込まれていますか?

隠ぺい部の点検
天井裏などの排気筒の外れや、巻いてある断熱材にシミや穴あきがないか、点検してください。

屋内に設置してある古いタイプのガスふろがま、ガス湯沸器をお使いの場合は、より安全なガス機器へのお取り替えをおすすめします。

地震・台風などの自然災害への対応

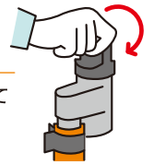
災害時の対応を解説

1 地震のときは、身の安全を最優先に

まずは机の下に身を隠すなどしてください。震度5相当以上の地震の場合は、ガスメーター（マイコンメーター）が自動的にガスを遮断します。あわてず落ち着いて行動しましょう。

2 揺れがおさまったらガスの火を消してください

ガス機器を使用していた場合、器具栓を閉めて火を消し、ガス栓も閉めてください。



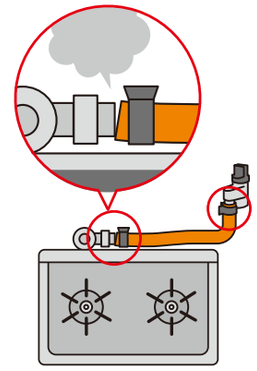
3 自然災害のあと、ガスをふたたび使う場合

●ガス機器周囲でガスの臭いがしないか

●ガス機器本体に変形・破損など異常がないか

●煙突式などの屋内外の給排気設備に異常がないか
（外れ・凹み・穴あきがないか目視で確認してください）

●ガス接続具が正しく接続されているか
（接続具に外れがないか目視確認してください）



※停電等で換気設備が稼働しない場合は、一酸化炭素（CO）中毒事故の恐れがあるので、窓を開けるなど換気を十分に行ってください。



異常を確認した場合

ガス臭いなどの不快なにおいがしないか、十分確認してください。給排気設備に異常がある場合は、火災や一酸化炭素（CO）中毒など事故の恐れがあります。すぐに連絡先❶までご連絡ください。

1 2 3 の異常がなく、ふたたびガスを使う場合は、表面に掲載しているマイコンメーターの復帰作業を行ってください。